

杉戸町の令和3年度決算 連結財務書類4表の概要

はじめに

杉戸町では、総務省の「統一的な基準による地方公会計について（平成27年1月）」の要請を受けて、平成28年度決算より「統一的な基準」に基づいた財務書類を作成・公表しております。

「統一的な基準」に基づいた財務書類では、民間企業のように発生主義の考え方にに基づき、日々の取引を会計伝票として複式仕訳を行うとともに、「固定資産台帳」の導入により、町が保有する土地、建物、道路等を一元的に管理します。また、「統一的な基準」においては、水道事業会計や国民健康保険事業会計等の公営事業会計、町と一体となって行政サービスを提供している関係団体などを含めた「連結ベース」での財政状況を把握し、町民の皆様に町の財政状況をお伝えすることとしています。

なお、財政状況についての傾向や特徴の把握には財務書類の情報を基に各種指標を算出することが有効とされますが、この指標については一般会計等の数値を基にしています。

杉戸町の連結財務書類の範囲

連結財務書類(以下、「連結」と表記)

1 地方公共団体(全体財務書類(以下、「全体」と表記))

(1) 一般会計

(2) 公営事業会計

① 公営企業会計

水道事業
下水道事業

② 特別会計

国民健康保険
後期高齢者医療
介護保険

2 第三セクター等

- (1) 有限会社 アグリパークゆめすぎと
- (2) 社会福祉法人 杉戸町社会福祉協議会
- (3) 公益社団法人 杉戸町シルバー人材センター

3 一部事務組合等

- (1) 埼玉県市町村総合事務組合
- (2) 彩の国さいたまづくり広域連合
- (3) 埼玉葛斎場組合
- (4) 埼玉県後期高齢者医療広域連合
- (5) 利根川栗橋流域水防事務組合
- (6) 埼玉東部消防組合

<財政面における杉戸町の特徴>

杉戸町は総資産に対する純資産の割合（純資産比率）が高く、将来世代と現世代がバランスよく財源を負担しているといえます。健全な財政運営ができてきているかの指標となる基礎的財政収支も一般会計等、全体、連結のいずれもプラスであり、業務活動で生じた資金で公共投資や行政サービスを実施しています。

なお、町の純粋な財産である純資産は一般会計等、全体、連結のいずれにおいても前期から減少しており、将来世代が利用可能な資源を現世代が消費して便益を享受したことを表しています。

<財政面における杉戸町の課題>

杉戸町は、有形固定資産減価償却率が60%を超えており老朽化が進んでいます。このため、今後は施設の維持修繕、更新費用が多額に発生することによる資金収支の悪化が懸念されます。

連結資金収支計算書の説明

連結資金収支計算書は、1年間の町の収入（歳入）と支出（歳出）を活動ごとに3つの区分に分けて表示したものです。令和3年度においては、連結ベースで業務活動収支15億円、投資活動収支△13億円、財務活動収支△5億円で、その結果、資金が3億円減少しました。

(単位：百万円)

	一般	全体	連結
【業務活動収支】			
業務支出	13,185	21,849	27,955
業務費用支出	6,853	7,875	9,518
うち支払利息支出	17	90	90
移転費用支出	6,332	13,974	18,437
業務収入	12,373	21,264	27,373
税金等収入	9,821	12,892	16,344
国県等補助金収入	2,044	6,610	8,369
使用料及び手数料収入	174	1,273	1,290
その他の収入	333	489	1,371
臨時支出	-	17	17
臨時収入	2,043	2,066	2,066
業務活動収支	1,230	1,463	1,466
【投資活動収支】			
投資活動支出	1,209	1,954	2,093
投資活動収入	275	759	835
投資活動収支	△ 934	△ 1,195	△ 1,258
【財務活動収支】			
財務活動支出	1,124	1,680	1,716
財務活動収入	969	1,240	1,240
財務活動収支	△ 154	△ 440	△ 477
本年度資金収支額	142	△ 172	△ 269
本年度歳計外現金増減額	4	4	4
前年度末資金残高	773	2,241	2,709
本年度末資金残高	915	2,069	2,446



ポイント 資金の流れ

投資活動収支及び財務活動収支は一般会計等、全体、連結のいずれにおいてもマイナスとなりました。投資活動収支のマイナスは**インフラ資産への投資が進んだこと**を、財務活動のマイナスは**地方債等の債務の返済が地方債の発行を上回ったこと**を意味します。つまり、収支のマイナスは財政の悪化を示す訳ではなく、税金等の業務収入から人件費や物件費、移転費用等の業務支出を差し引いた業務活動収支のプラスで投資活動・財務活動を行ったという資金の流れを示しています。

ポイント 基礎的財政収支（プライマリーバランス）

基礎的財政収支とは、業務活動収支（支払利息支出を除く）と投資活動収支(基金の収支を除く)の合計額であり、当該数値がプラスの場合は現在の財政規模に対する地方債等の比率を増加させずに財政運営を持続していくことが可能であると考えられます。

杉戸町の基礎的財政収支は、一般会計等、全体、連結のいずれにおいてもプラスとなっています。これは、**地方債等の外部からの借入に頼らずに業務収入で行政サービスを実施**し、将来世代へ負担を先送りしない**健全な財政運営ができて**いることを示しています。

